

「ハッ場ダム建設事業の検証に係る検討報告書（素案）」に対する関係住民の意見聴取

平成 23 年 11 月 7 日（月）10:00~12:00

さいたま新都心合同庁舎検査棟

発言者：意見発表者 15

東京都墨田区の●●●と申します。少し自己紹介させていただきたいと思いますが、日本弁護士連合会の公害対策環境保全委員会の委員をしております。日弁連、いくつかの河川行政に関する意見書なども出しておりました、2 年位前だったかと思えますけれども、全国で堤防の状態が危険な状態があるということで堤防の整備を急げというような意見書を出しております。それからハッ場ダム住民訴訟というものが一都五県でありますけれども、東京の住民訴訟の弁護団をしております。というような立場でハッ場ダムの検証・検討というものを注視させていただいておりました。

今回、詳しくいただいた検討報告書なんですけれども、昨日、この場に大河原雅子さん、民主党参議院の大河原雅さんがいらしていただいたと思えますけれども、大河原さんが資料請求で、とられた資料ですね。ハッ場ダムの関連事業の受注者に国土交通省から何人天下りが入っているかというような資料を出していただいたりしてまして。国土交通省というのは、ハッ場ダムが中止になると、その天下り先が少なくなってしまうという利害関係者であるというようなことを見ておりますので。今回の結論にハッ場ダムがベストだというような結論は、非常におかしな結論だなと思えますけれども、利害関係者という国交省の中で反対派を入れなくてやった検討ですので、そういう結論になっても不思議ではないのかなというような感想を持ちましたけれども。ただ、これはちょっと酷いんじゃないかと思いましたが、治水の検討の中で示されている河川整備計画相当の目標流量が毎秒 17,000 トンだというような記載があります、でこれを元にハッ場ダムがベストだと結論を導いておられるわけですが、河川整備計画につきましては、平成 19 年頃に国交省の方でも策定手続き開始されていたかと思えますけれども、お配りした資料のこういう表になっているものがあると思えますけれども、これは河川整備計画に関して国交省の方で意見を募集されて、それで、その回答を示されたものホームページからとったものです。これはたくさんある中の一部なんですけれども 60 代の三郷市の男性の意見を長いですが、少しこういった意見質問です。「利根川の河川整備計画は目標治水安全度を本川 1/50、支川 1/30 として策定することになっているが、その安全度に対応する目標流量が科学的にみて妥当な値であるかどうか非常に重要である。それは、この目標流量が過大に設定されていたために本来は不要な河川施設が河川整備計画に盛り込まれる可能性が高いからである。整備計画案では、八斗島地点の洪水調節後の目標流量は毎秒 13,000 トンとなっているが、洪水調節前の目標流量は明らかにされていない。その数字と、それが 1/50 の値として科学的に妥当かあるかどうかを示す詳細な算出根拠を明らかにすることを求める。」ということ意見を言われているのに対して、国交省の回答ですが「利根川水系の河川整備計画については、現在、検討中であるため、現時点ではお示しすることができません。今後、河川整備計画のたたき台を公表するに際しては、わかりやすい説明に努めます。」ということでありました。私ども、いつたたき台が公表されるのかな、いつ説明が頂けるのかな、と待っていましたけれども、一向に手続きが止まったままでありました。ところが、今回のダム検証の手続きになって突如として、河川整備計画相当の目標流量が毎秒 17,000 トンという数字が出てきて非常に驚いております。これは、たたき台も我々見ておりませんし、分かり易い説明もされたということもないと思えます。こういったたたき台を示すとそれで分かり易い説明をすると約束をされた訳なので、これを破るような 17,000 ト

ンというような判断は撤回していただきたいというふうに思っております。本来、その河川整備計画というものはですね、改正河川法で釈迦に説法だと思いますけども、住民の意見を入れて作るんだよということで新河川法で定められておまして、淀川の方では淀川流域委員会という格好で、徹底した情報公開と住民参加というようなことで色々なダムが検証されていったというようなこともあります。そういった公開の場で徹底した情報公開がされれば、本来であれば、こうなるのではないかということをお今日は、配付した資料に書かせていただいております。3番のところです。最近60年間では、昨日の発表者の方の9番目の発表者の方がこういう資料を出されたんですけども、ちょっと小さくて見づらいかもかもしれませんが、最近50年位だと毎秒10,000トンというところを満たさないような洪水しか発生しておりません。河川整備計画というのは今後2~30年というスパンで考えるものですからそれをいきなり17,000トンだということには私はならないではないかと思っております。それから堤防の状態というのは、非常に危険だということは、先ほどの日弁連の意見書でも指摘されているところですし、昨日の発表された●●●●さんも指摘されておられる。八ッ場ダムが必要だとおっしゃる方も堤防は危ないんだとおっしゃる訳なんですけども、堤防が危ないから八ッ場ダムというのも私は本当によく分からなくて埼玉県知事の上田さんもそういうことおっしゃるんですけども、ちょっとおかしいと思っております。堤防が危ないのであれば、堤防を直さなければいけないということで、ダムができれば堤防が要らなくなるかというところではないんだと思うんですけども、堤防はダムができてでもできなくても直さなければいけない弱い堤防は直さなければいけなく、それでじゃあその上にダムを造るのかとそんなにそういうことができるほどこの国にはね、ジャブ・ジャブとお金があるのかなと思うわけです。震災のこともありますし、先週の土曜頃でしたかニュースを見ておりましたら栃木県の方だったと思うんですけども、生活用道路である橋がですね改修できないと非常に老朽化して改修費用がなくて見込みが立たないので何百mか離れたところの橋を渡っていかざるを得ないと、そういうニュースがあるところに、もうダムや堤防、何でもということではできないのではないかと思っております。それから、実際の洪水とか水害に対する八ッ場ダムの効果ですね、計算上の効果ではなくて実際発生している洪水にどのように八ッ場ダムが水害を軽減するのかということですよ。昨日も年配の女性の方が、カスリン台風で大変だったという話をして、八ッ場ダムを是非つくってくださいということをおっしゃってましたけども、以前には、八ッ場ダムというのは、カスリン台風の洪水には全く効かない効果はゼロだということで国会答弁もされておられたところだと思いますのでそういうことは、報告書で明らかになっていけばですねそういう意見をおっしゃる方もその方の意見ということも変わってきたのではないかと思うところです。そういう意味で情報公開というのは、徹底した情報公開というのは、必要だというふうに思っております。●●●●●さんという方もですね、以前、埼玉県特別参与という立場におられたかたのようですけども、なんだかその写真を示されてですね、非常に洪水が堤防に迫っているように見える写真でしたけれども、ただいつの洪水であってどの地点でそういった状態になっているかということも全く分からない状況で、その前に●●●●●さんが説明されたのは98年の9月に起こった洪水で八斗島地点では八ッ場ダムがあってもなくても洪水そのものが堤防の何mも下だと、その地点で13cm水位を下げてもそれはもうあってもなくても同じですよ。という話をされたところです。そういった意見ということも当然今回、報告の素案を修正する段階で入れていただきたいですし、きちっとした議論がなされれば自ずと結論も変わるんだと思っております。それから今回の検討で非常におかしい工事を凍結しないまま残事業費でもって代替案との比較検討を行っているということでは常識では通用しないと思うんですよ。近頃、産経新聞がアンケートをとられているようですけども、これでも4,600億円の事業費だけでもこれに対応するような効果があるかと聞いております。これが普通であると思っております。それから費用対効果の費用便益比の算定ですけれ

ども、これも治水経済調査マニュアルですね。非常におかしなマニュアルです。同時決壊、同じ河川で同じ洪水で同時に堤防が決壊するというような前提で費用が洪水の被害額がかなり見積もられて、その結果ダムの効果が水増しされると、こういうようなマニュアルです。昨日も7番目の発表者の方ですかね、この費用便益比の算定根拠を情報公開でとられて非常に過大であるということを指摘しておられました。47年間の実際の被害額というのは、180億円位であるのに費用便益比の元になっている想定の上の被害額というのは、6,800億円位だということで、こういうことが可能になってしまうマニュアルですね。これもキチンとした、わざわざ情報公開請求で求めるということではなくてですね、キチンとはじめから示していただいて情報公開徹底していただいて、それでどうですかと聞けば皆さん分かるはずなんですね。効果額というのがおかしいんじゃないかということです。ハズレ続きの水需要予測、今日も●●●●さんから指摘があったかと思えますけれども、あういうような年々年々乖離することが大きくなってくるといような水需要の利水に関して、水需要のこういう予測を前提にした検討というのはおかしいじゃないかという話になるはずですよ。いろんな意見が出ておりましたいろんな指摘がありますのでこういった昨日、今日、明日もありますけれども、こういった意見をキチンときいていただければ八ッ場ダムがベストという結論は維持できないのではないかと私は思っておりますけれども、今後この報告書が素案が完成して有識者会議というところにかける訳ですけども、この有識者会議というものも非常に、今はマスコミだけ、議事録に発言者すら載せない。誰が何を言ったのか分からない。非常にコソコソとやっているような会議ですね。八ッ場ダムが、事業継続だというふうな結論をだしても、これもまた通用しないことだと思っております。キチンとした議論を今日も来ておられる●●●●●●さんを委員に加えてキチンと英知を結集してですね完全公開、インターネット中継、経産省のエネルギーに関する審議会でもやっております。そういったことで堂々と議論をしていただきたいと思います。どうもありがとうございました。

以上